

攻撃前提社会における

AI協業とレジリエンス

—DX/AXを支える“可視化と自動化”の最前線

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

事業企画部 ディレクター **阿部 一真** (あべ かずま)

新卒でNTTデータに入社し、Salesforceビジネス推進部門でコンサルティングセールス・カスタマーサクセスを経験。

その後、AIベンチャー企業・SaaSスタートアップ企業にてCS責任者およびプロダクトマネージャー・事業統括責任者を歴任し、エーアイセキュリティラボに入社。

現在はCXチームでの活動に加え、新規プロダクト企画・海外事業展開など全社横断プロジェクトにも携わる。

あらたな答えを、つぎつぎと。

変化の激しいサイバーセキュリティの世界。

私たちは、未知の課題が生まれるたび、培った知見と経験・実績をもとに、「あらたな答え」を世の中に提供し続けていきます。

世界も驚くような、技術の力で。

そして、サイバーセキュリティの進化を通して、人は、人にしかできない、創造性を活かした仕事に注力できる、社会の進化にも貢献していきます。

誰でも簡単に

プロさながらの高度な
脆弱性診断を

 AeyeScan



攻撃前提社会における

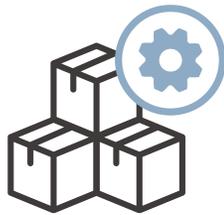
AI協業とレジリエンス

—DX/AXを支える“可視化と自動化”の最前線

いまはAIを事業に組み込む「AX時代」へと突入している

DX

ITやクラウド活用による
業務効率化



人間がやっていた定型業務を
システムに代替させる



AX

AIの自律的な動きによる
業務変革

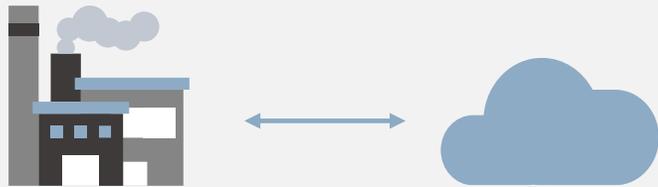


人間ができていないことも含め
AI活用で事業を発展させる

DX/AI時代は「攻撃される前提」でのリスク管理が重要

DXの進展

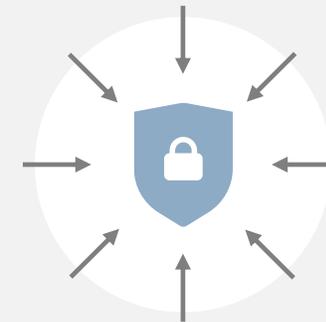
ITとOTが融合し、
ビジネスとデジタルが直結



**サイバー攻撃は
事業存続のリスクに**

AIの進化

サイバー攻撃のコモディティ化



**攻撃されるのが
当たり前の世界へ**

DX/AXが進むほど、リスク管理は「復旧力」が問われる

AIが事業に組み込まれていることから、リスク管理の重要度が増している。



AIが事業に組み込まれ
部分障害が全体停止に
つながりやすい



早く復旧できないと
事業の改善スピードが
低下してしまう



サービス停止や
その後の対応次第で
顧客の信頼低下を招く

事業継続のためには「サイバーレジリエンス強化」が欠かせない

あらためて、DX/AX時代に必要なサイバーレジリエンスとは

攻撃されても、業務やサービスを継続し、被害を最小化しながら素早く復旧できる体制

NIST CSF 2.0のモデルと、対応する対策・ソリューション

← ガバナンス (Govern) : 経営層と戦略の統合 →

特定

資産とリスクの
可視化

ASM、脆弱性管理
ID/アクセス管理

防御

権威の
侵入・拡散を阻止

EPP/EDR、DLP
ネットワーク
セキュリティ

検知

脅威の早期発見
分析

SIEM
脅威インテリジェンス

対応

インシデントの
迅速な封じ込め

SOAR
インシデント
レスポンスサービス

復旧

事業継続の
確保

レジリエンス強化に必要なこと① 資産とリスクの「可視化」

攻撃される前提で考えた時に、資産とリスクを把握していることが重要



「見えないものは守れない」

攻撃対象を**可視化**（把握）することが、サイバーレジリエンス強化の第一歩

レジリエンス強化に必要なこと② 対策の自動化

脆弱性診断もASMも、人手だけで実施しては追いつかない。

診断対象の多様化

クラウド

SaaS

API

サーバ

開発環境の変化

アジャイル

CI/CD

高速リリース

短期サイクル

「人だけでは守れない」

自動で回る仕組みづくりが、レジリエンス強化に求められている

DX/AX時代のセキュリティの理想形 = 人とAIの協業

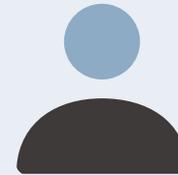
AIの役割



広範な探索、推論
精度の安定化



人の役割



事業文脈の理解
判断、優先順位付け

人とAIの協業で、セキュリティが“自然に回る仕組み”を維持することができる

お客様から伺う「脆弱性診断」のお悩み

公開するWebサイトや
提供するWebサービス
が増えている



開発規模・サイト規模
が大きくなっている
(100画面以上ある)



機能改修・追加など
リリース頻度が高く
間隔も短くなっている



でも…

予算が限られている

人員も限られている

お客様から伺う「ASM」のお悩み

探索に必要な
手がかりがわからず
進まない



誤検知の精査に
手間や時間がかかる



発見経路や
検出理由まで
わからない



同様に…

予算が限られている

人員も限られている

予算・人員が
限られていても

人とAIの協業モデルによる自動化・可視化で
サイバーレジリエンスを強化できます



生成AI時代の脆弱性診断なら

AeyeScan



クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1※



有償契約
300社以上

※富士カメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア (2024年度実績)

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア (2023年度実績)



スキャン登録

結果レポート

AeyeScan

自動診断



01

高精度なAI活用

巡回精度が高く
画面遷移図で見てわかりやすい

02

学習コストゼロ

開発やセキュリティの
知識がなくてもすぐに使える

03

業界標準対応

外部委託と遜色なく
内製化が可能

| AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作



開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。



AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。

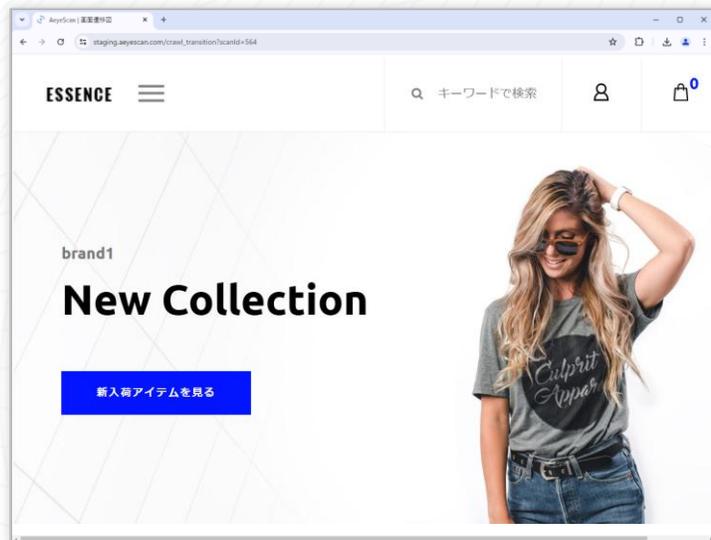


わかりやすいレポート



各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

巡回時に、自動で画面遷移図を生成



The screenshot shows the AeyeScan tool interface. The browser address bar displays 'staging.aeyescan.com/crawl_transition?scanId=564'. The main heading is '画面遷移図' (Page Transition Diagram). Below the heading, it says '画面数:82 (スキャン対象: 82)' and has buttons for 'ダウンロード' and '全てを豊む'. A legend indicates '凡例: ①'. The diagram shows a flow of pages starting from '18533.Essence - トップページ' (Home Page) and branching into various product pages like '18534.Essence - トップページ', '18535.Essence - トップページ', '18536.Essence - 商品一覧', '18545.Essence - 注文 (http://d.emosite1.aeyescan.work:333/3/checkout)', '18546.Essence - 商品一覧', '18547.Essence - 商品一覧', and '18615.Essence - 商品一覧'. Arrows indicate the flow between pages, with some labeled '非表示' (Hidden) and '注文する' (Place Order). A status bar at the bottom right shows 'Status: Crawled', 'Auto Fetch', and 'Auto Chase' buttons. A 'ヘルプ' (Help) button is at the bottom right.

結果がわかりやすく、すぐさま修正作業に取り組めるレポート

AeyeScan

Web-ASM | スキャン一覧 | スキャンメニュー | 組織設定 | 22

スキャン一覧 > スキャン詳細 > スキャン結果(カテゴリ)

スキャン結果(カテゴリ)

● 会社概要アップデート (<http://demosite1.aeyescan.work:3333/>)

レポートダウンロード

Severity	Count
Critical	11
High	0
Medium	23
Low	1
Info	17

● OWASP TOP 10の結果

- > A1:2017-インジェクション: 11件
- > A2:2017-認証の不備: 1件
- > A3:2017-機微な情報の露出: 1件
- > A4:2017-XML 外部エンティティ参照(XXE): 1件
- > A5:2017-アクセス制御の不備: 0件
- > A6:2017-不適切なセキュリティ設定: 17件
- > A7:2017-クロスサイトスクリプティング(XSS): 18件
- > A8:2017-安全でないデシリアライゼーション: 1件
- > A9:2017-既知の脆弱性のあるコンポーネントの使用: 1件

ヘルプ

概要 | 脆弱性情報 | 詳細ログ | 再スキャン実行

クロスサイトスクリプティング

スキャン情報

81. 会社概要アップデート (<http://demosite1.aeyescan.work:3333/>)

対象ページ

1777.Essence - 新規登録 (確認) (<http://demosite1.aeyescan.work:3333/register>)

画面遷移図で表示

深刻度

Medium

CVSS: 5.1 (CVSS:4.0/AV:N/AC:L/AT:N/PR:N/UI:A/VC:L/VI:L/VA:N/SC:N/SI:N/SA:N)

スクリーンショット

The left screenshot shows a login form with fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password). The right screenshot shows a registration form with fields for '氏名' (Name), '性別' (Gender), '年齢' (Age), 'パスワード' (Password), '確認パスワード' (Confirm Password), 'メールアドレス' (Email Address), and 'パスワード' (Password). A blue arrow points from the 'パスワード' field in the login form to the 'パスワード' field in the registration form.

AI活用で、脆弱性診断プロセスの大部分を自動化・省力化できる

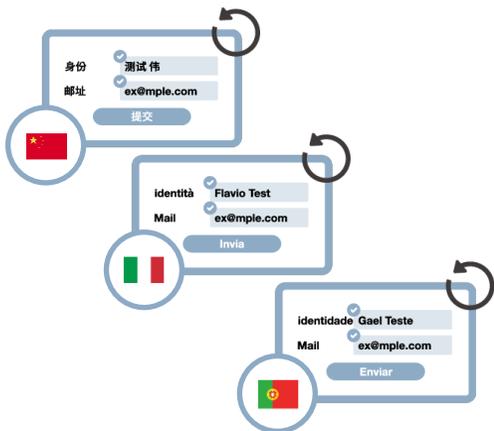


生成AIを組み込むことで、多様なWebサイト・多様な脆弱性に対応

多言語対応

日英以外のWebサイトも幅広く巡回・診断

多言語でのフォーム入力

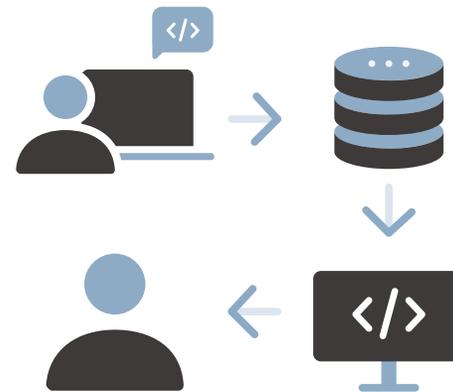


日本語	ポーランド語
英語	スペイン語
フランス語	ポルトガル語
中国語	ロシア語
韓国語	スウェーデン語
オランダ語	アラビア語
ドイツ語	...
イタリア語	

診断項目の拡張

人間しか診断できなかった脆弱性も検出

セカンドオーダー系XXS



認可の不備・権限昇格



高度な生成AI活用により、効率的かつ信頼性の高い探索が可能



生成AIをASMに活用することで…!

会社名だけで 攻撃面を探索

検索結果に上がってきた
組織名(文字列)を解読



膨大な情報源 から総合的に判定

- ✓ SSL証明書の情報
- ✓ IR情報(Web公開済み) など



発見経路/理由 が分かる

生成AIが攻撃面を見つけるまでに
辿ったルートの説明



リスク対応の優先順位付けに必要な情報を自動判別

Web資産の重要度

各Web資産の属性

(サイト用途、保持データなど)



製品情報サイト

重要度：中



ECサイト

クレジットカード
情報保持

重要度：高



ヘルプサイト

WordPress使用

重要度：低

リスクの深刻度

NEW

ミドルウェアやライブラリの悪用観測脆弱性*

※既にサイバー攻撃で悪用が確認された脆弱性

2件



ミドルウェアA CVE-xx 深刻度：高
ミドルウェアA CVE-xx 深刻度：中

1件



ライブラリB CVE-xx 深刻度：低

10件



ミドルウェアC CVE-xx 深刻度：高
ライブラリD CVE-xx 深刻度：高
:

| AeyeScanが選ばれている理由

誰でも使える操作性

×

プロが認める機能・性能

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

製造



メディア



インフラ



人材・教育



金融



エンタメ



Leverages



BookLive

SaaS



SI・IT企業



セキュリティ企業



AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



定期開催中！

AeyeScanがよく分かるデモ動画・セミナー

AeyeScanを
検討してみたい方へ

開発を止めない

脆弱性診断

内製化を強かにサポートする

AeyeScan デモ動画



AeyeScanがどんなものか知りたい方に、
デモを交えてわかりやすくご紹介。
まずは気軽に使い勝手をチェック！

デミセミナーの日程を確認

AeyeScanの操作を
体験してみたい方へ

SEMINAR

脆弱性診断を無理なく

社内で実施できる

AeyeScan 体験セミナー

2月の日程



実際の操作を通して、一連の機能を体感。
導入前の不安や疑問をまるごと解消。
“わからないまま”をなくすセミナーです。

ハンスオンセミナーの日程を確認

セキュリティ対策に
お悩みの方へ

最新セキュリティ情報をお届け

ウェビナー

毎月開催

気軽に学べる
無料セミナーです！



最新の事例や対策ノウハウをテーマ別に紹介。
月替わりで学べる無料ウェビナーを開催中。
お気軽にご視聴いただけます！

ウェビナーの日程を確認



オフラインイベントも是非お申込みください！

AeyeSecurityLab

触って試して専門家に相談できる！

脆弱性診断ツール 比較・体験セミナー



2026.1.30 金 15:30-17:00

参加
無料

2.20 金 15:30-17:00

3.6 金 15:30-17:00

会場: 神田スクエア **オフライン開催**





AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。